

# 福山市内で出張グルーミング展開 場所見知りや分離不安などの犬に

犬処のんびり オーナーグルーマー

ね もと のぞみ

## 根本希望さん

福山市鞆町在住 電話 090・1926・0001



「不安なワンちゃんだけではなく、介護や育児等で長時間家を空けることが難しい飼い主さん、高齢で動くことが負担になるワンちゃんの場合などは、是非訪問スタイルをご利用下さい。施術中は様子を見ていただいても、家事をしていただいてもいいので、リラックスしてお過ごし下さい。」

根っからの動物好きで、中2を筆頭に3児の母親の根本さんは、市内動物病院で5年間グルーマーとして活躍。犬それぞれの家庭に寄り添いたいという思いと、自分らしい働き方を目指して独立した。犬への負担の少ない丁寧な手入れと、穏やかな人柄が評判だ。

「ワンちゃんとお話ししながら、不安がった時は理由を考えて、その子のペースで行います。『根本さんだったら元気をもらえる』と言っていただけグルーマーになりたいです」と話す。

料金は犬種による。エリアは福山市全域で、鞆一箕沖など鞆近郊以外は出張料が必要なので問い合わせを。施術には風呂場などを使う。

犬を飼う上で、シャンプーや毛繕い、ケガから守るための爪切り、デキモノがないかなどのチェックをするグルーミング（トリミング）は定期的に必要なと言われているが、分離不安や場所見知り、サロンに行くことが難しい犬も多いという。そんな犬たちが、住み慣れた家で施術を受けることができる訪問グルーミング事業を昨年からはじめた。



# 呼吸器外科・肺がん手術の名医 広島市民病院 呼吸器外科で活躍

医療法人達磨会 井上病院 副院長

まつうらもと き

## 松浦求樹さん (65)

福山市東深津町 3-23-46

電 084・943・5000



井上病院（井上文之理事長・森雅信院長）は、病床数38床で病院としては小規模だが、呼吸器疾患の手術・治療において全国的に評価が高い。それを支えているのが井上理事長をはじめとする優秀な4人の専門医で、4月1日付で呼吸器外科・肺がん手術の名医と言われる、松浦求樹さんが副院長として加わった。

松浦副院長は、この3月まで広島市立広島市民病院 呼吸器外科 主任部長を務めており、定年退職後の動向が注目されていたという。

岡山県出身の松浦副院長は、1958年3月生まれ。徳島大学医学部卒業後、岡山大学旧第2外科に入局し、高知県立中央病院、倉敷第1病院、岡山大学第2外科医局などを経て、1990年から広島市民病院に勤務した。

同病院に在籍していた33年間に手掛けた手術執刀数は、実に3160件ののぼる。岡山大学の医局時代から親交のあった井上理事長は「的確な診察と精度の高い手術技術は際立っており、定年後は当病院へ」と、早くからアプローチしていた。

松浦副院長は「井上理事長と病院スタッフの優秀さが、着任させていただいた理由ですが、心を大きく動かしたのは、相手を包み込むような理事長の温かい人柄です」と説明した。趣味はバスケットボール。